

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	全て光化(超高速ブロードバンド基盤)することが必要とは感じていない。 光を整備する前に、コンテンツ等サービス内容の充実が必要と考えます。 光化の目的は何か、その利用方法は何か等について十分な時間をかけて議論を進めて頂きたい。また、具体的な理由がわかる資料を作成して頂ければ幸いです。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	「事業者間の公正競争を一層活性化することが適当」という案には賛成するが、NTTの組織だけを考えるよりは、NTT以外の事業者についてもどのようにするのか議論が必要と考える。また、仮に基盤整備(設備構築)のため一部の組織のみを以前の電電公社に戻すという案は歪過ぎると考える。国民の税金を使うのであればそれは、本来の目的と矛盾するのではないか。また、NTTの組織を見直すのであれば、「光の道」が軌道にのった後、更に見直しを行うことになるのか。参考資料を見ても明らかにされていない。日本の未来を見据えて十分な議論をお願いします。また、参考資料についても、もう少し素人にわかりやすくしていただければ幸いです。